

FastGene™

スクリプテース

ベーシック

Scriptase Basic cDNA Synthesis

Cat.No. NE-LS62

Cat.No.	概要	包装単位
NE-LS62	FastGene™ Scriptase Basic cDNA Synthesis	反応100回分

【製品説明】

RNAをテンプレートとしてDNAを合成する逆転写反応の応用は、近年の分子生物学において、きわめて重要となっております。これを可能とするDNAポリメラーゼは、逆転写酵素と呼ばれています。mRNAを逆転写して合成される相補的DNA (cDNA) は、PCRによる目的遺伝子の増幅やqPCRによる発現定量に応用されます。MuLV逆転写酵素は3' → 5' エキソヌクレアーゼ活性を欠失しており、逆転写反応に最適な酵素として急速に普及しています。FastGene™ Scriptase BasicはMuLV逆転写酵素を更に改良した逆転写酵素です。

【保存条件】

-20℃

【キット内容】(反応100回分)

- FastGene™ Scriptase Basic (200 U/μL)
- 10x FastGene™ Scriptase Basicバッファー
- dNTPミックス (各2 mM)
- 滅菌水 (RNaseフリー)
- RNaseインヒビター (40 U/μL)
- オリゴdTプライマー (80 μM)
- ランダムヘキサマー (100 μM)

【仕様】

- 純度：> 99% (SDS-PAGE法)
- Endonucleaseフリー
- Exonucleaseフリー
- RNaseフリー
- インヒビターフリー

【実験手順】

(テンプレートRNAのインプット量)

- 全RNA：1 ng ~ 5 μg
- メッセンジャーRNA (mRNA)：1 ng ~ 0.25 μg
- 特異的RNA：0.01 pg ~ 0.5 μg

- 推奨量のRNAテンプレートを、オリゴdTプライマー (80 μM) 1 μL、又はランダムヘキサマー (100 μM) 1 μL、又は両方のプライマーと混合する。もしくは、特異的プライマー (任意の濃度) 1 μLと混合する。
※20 μL系の場合、RNAテンプレート溶液は12.5 μLを超えないよう注意してください
- 42℃で5分間インキュベーションする。
※ランダムヘキサマーを使用する場合は、追加のアニーリング工程として25℃で10分間インキュベーションしてください

- RNA混合液を氷上で保存し、下記の試薬を加える：

プライマー添加済みRNAテンプレート	x μL
10x FastGene™ Scriptase Basicバッファー	2 μL
FastGene™ Scriptase Basic (200 U/μL)	1 μL
dNTPミックス (各2 mM)	2 μL
RNaseインヒビター	0.5 μL
蒸留水	up to 20 μL

- 42℃で60分間インキュベーションする。
※インキュベーション温度は必要に応じて50℃まで上げることが可能です
- 90℃で5分間インキュベーションして、酵素を完全に不活性化する。



日本ジェネティクス株式会社 〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル18階

https://n-genetics.com ① info@genetics-n.co.jp ② 03 (3813) 0961 ③ 03 (3813) 0962